

第 6 次塩竈市長期総合計画 後期基本計画へのパブリックコメントの結果について

1. 募集期間：令和8年8月3日（月）～8月31日（月）

2. 意見数： 13件

NO	ページ	行	意見	意見に対する考え方
1	11	-	前期基本計画成果指標の達成状況について 素晴らしい結果であると思う。	前期基本計画における成果指標の達成状況を踏まえ、後期基本計画におきましても、一部指標については時代の潮流に合わせて見直しを行い、引き続き取り組みを進めてまいります。
2	19	2	個性を生かす学びについて 一人も取り残すことなく「できる・わかる・思いやる」喜びが味わえる学校を作るためには、一人ひとりに丁寧に対応できる学級規模、教員数が必要です。国に定数改善を要望するとともに、塩竈独自で30人20人学級を実施してください。それぞれの地区の学校を維持(安全・快適な学習環境の充実が必要です)することで、国の定数法の範囲内でも少人数学級が維持でき、塩竈独自で教員配置が必要な人数は減るはず。少人数学級、小規模校では、市や学校で一律の学習方法を取り入れるのではなく、学級に応じた学習方法、教員の個性や得意を、生かした学習方法を工夫することができる。報告書を増やすのではなく、教員の裁量を増やしサポートすることで、教員から選ばれる塩竈にすることが大切。	未来を担う子どもたちを育むための学習環境の充実といたしましては、令和7年3月に策定いたしました「学校規模の適正化等に関する方針（案）」をもって、意見交換を実施し、具体案の検討を進めているところです。頂きましたご意見につきましては、今後、塩竈市の学校規模の適正化に向けた議論のなかで、検討するものと認識しております。
3	19	4	第2節未来を担う子どもを育むための学習環境の充実について 「できる、わかる、思いやる」喜びが味わえる。このことは最も大事なことである。しかし、今の学校の現状や教職員の置かれている環境では難しい。学級の人数をせめて30人以下にすべきである。教職員の定数改善を国や県に申し入れるべき。できなければ塩竈市で独自で教職員を確保して少人数学級実現すべきである。	
4	19	8	小学校と中学校の連携について 小学校と中学校との連携を進めることよりもそれぞれの学校で教職員がじっくり子どもたちと向き合う時間の確保と教職員を増やし、教職員の個性や得意を活かした学習方法を保障することが求められる。	
5	19	17	3 安全・安心で快適な教育環境づくりについて 坂道の多い塩竈市内の学校では、子どもたちが通いやすい地域の学校が必要であり、統廃合ではなく地域の学校が重要である。	

NO	ページ	行	意見	意見に対する考え方
6	25	1	みんなが生きがいをもち安心して暮らせる支援体制の充実について 塩釜は坂道が多く、車のない人はとても住みにくい。車の免許証を返納したら移動が大変であり、高齢者が免許証返納した場合、何の特典もない。バスの本数を増やし、いつでも移動しやすいようにバスの乗車券を配布するなど便宜を図ってほしい。	本計画 第2章（福祉）におきましては、まちづくりの方向性として「健康で安心して暮らせる地域づくり」を掲げております。ご指摘の内容について、免許書を自主返納した65歳以上の方への乗車券交付などに取組んでいるところであり、今後も各種施策のなかで検討してまいります。
7	28	-	買い出しツアーについて 今後顕在化してくると思われる買い物難民の対策として非常に立派な企画だと思えます。免許を持っていない高齢者にとってありがたく思います。	「塩竈らしい100の暮らし」にあります本項目につきましては、外出して買い物をすることが困難な方に対する支援として、買い物支援マップ・リストで食料品などを市内に配達する店舗・事業所などの情報を提供しております。頂きましたご意見については、今後、実現に向けた取組について検討を進めてまいります。
8	29	-	空き店舗で健康麻雀について 高齢者の認知症予防や空き店舗で麻雀することで商店街の賑わいに繋がるとも良いアイデアだと思います。	塩竈らしい100の暮らしにつきましては、「楽しみながら、これからも塩竈で暮らしていきたい」という市民の想いを形にした本計画の特徴にもなります。頂きましたご意見については、今後、実現に向けた取組について検討を進めてまいります。
9	29	-	障害のある人について 道路、建物のバリアフリー化も大事ですがオレンジリングのようにボランティア制度を設けてみてどうか。	「塩竈らしい100の暮らし」にあります本項目につきましては、市内環境のユニバーサルデザイン化や交通機関の充実などの意見を基にまとめられたものとなっております。 ボランティア制度につきましては、本計画の第2章（福祉）におきまして、各種施策をまとめておりますので、今後検討してまいります。
10	32	1	災害などについて 避難所がない地域がある。いろいろな備蓄もなく、停電や断水になると全く何もできない。それぞれの地区の避難所や備蓄を点検し、避難所がない場所には各町内会任せではなく、行政が主導し準備すべきではないか。	災害などに対する「強さ」と「しなやかさ」を持ち、安全・安心に生活できる都市環境づくりにつきましては、本計画では、市民一人ひとりの防災・減災意識の向上に努めることとしております。頂きましたご意見については、各種施策の中で、今後検討してまいります。
11	33	25	市内交通体系について 免許返納しても移動しやすい塩竈として、土日にも塩ナビバスを運行してほしい。市内は坂が多いのでバス停まで歩くのもたいへんであるため、地元のタクシー会社と提携し、タクシー乗車券やタクシーのシェアリングを行政主導で導入してほしい。近隣の町の駅のようにタクシーのない市になっては、観光客や住民に選ばれる塩竈にはならないと思う。	公共交通体系の連携強化として、市内4駅を起点とした公共交通体系を維持し、回遊性を高めることとしており、頂きましたご意見については、各種施策のなかで、今後検討してまいります。

NO	ページ	行	意見	意見に対する考え方
12	46	1	観光メニューの創出について 塩竈のご当地キャラクターを全面に出したグッズやイベントを行うなど、地域住民を巻き込んだ取組をつくり、産業を創出する。 また、JRや地元タクシー会社と提携し多賀城、松島との観光エリアの魅力を発信する。 さらには、仙台駅で荷物をホテルまで送れるようにする。そのときに塩釜駅～表坂の下、表坂の下～塩釜神社駐車場、荻番館のあたり～塩釜神社駐車場のタクシー割引券を配る。仙台から松島までの○日周遊券の発売、マリングート～松島海岸の観光船の割引券、門前町の一方通行の道路を車両進入禁止にして、食べ歩き可能なエリアにし、飲食店や塩釜グッズ・お土産販売店の開業支援。門前町・ベイエリアを松島の知名度を利用して、全国的な観光地にする。	地域資源を最大限活用した観光メニューの創出につきましては、令和8年3月に塩竈市観光振興ビジョンを策定しております。頂きましたご意見については、今後、同ビジョンの実現に向けて、検討を進めてまいります。
13	-	-	いつもご苦勞様です。もっとお祭りを増やして欲しい。活気ある塩竈にしたい。	お祭りなど各種イベントの実施につきましては、志波彦神社・鹽竈神社の氏子三祭（帆手祭、花まつり、みなと祭）をはじめ花灯りや月灯りなど、年間を通して、様々なイベントが開催されております。開催にあたって、主催団体に対し、市としての協力のあり方なども含めて、頂いた意見を参考に検討してまいります。